

教科の指導と生徒指導の一体化

～授業の中に「支える」生徒指導を～

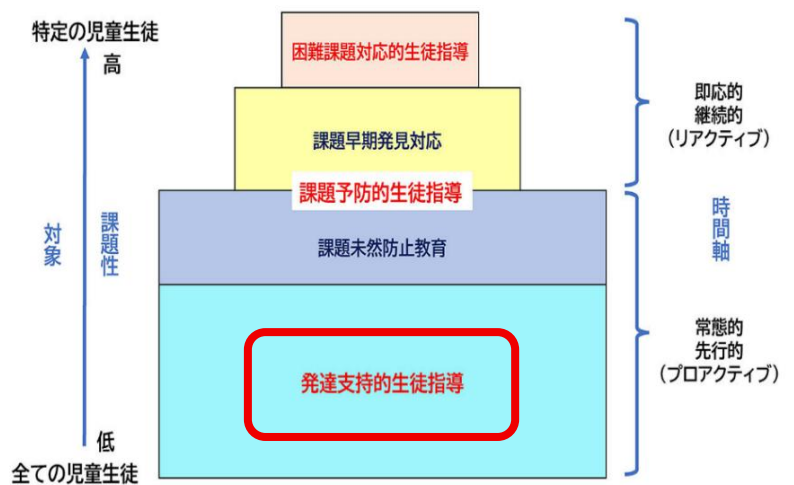
令和4年12月に改訂された『生徒指導提要』では、特定の児童生徒に焦点化した「事後」指導・援助から、全校体制で取り組む全ての児童生徒を対象とした「成長・発達を支える生徒指導」へ転換することの重要性が述べられています。

教職員一人ひとりが「**未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成**」に向け、授業の中に「**支える**」という生徒指導の視点を意識して組み込んでいきましょう。

◇ 「発達支持的生徒指導」への転換

発達支持的生徒指導は、特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるものです。

具体的には、日々の教職員の児童生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話、授業や行事等を通じた個と集団への働きかけが大切になります。



(引用：文部科学省「生徒指導提要」改訂版 令和4年12月)

◇ 教科の指導と生徒指導の一体化

授業は全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の場となります。教科の指導と生徒指導を一体化させた授業づくりは、生徒指導の実践上の視点である、「**自己存在感の感受**」、「**共感的な人間関係の育成**」、「**自己決定の場の提供**」、「**安全・安心な風土の醸成**」を意識した実践に他なりません。

児童生徒が「自分も一人の人間として大切にされている」と感じる授業や、児童生徒同士がお互いに関心を抱き合う授業、意見発表や対話や議論の機会がある授業を進め、学級・ホームルーム集団が児童生徒の「(心の)居場所」になることが望まれます。

(1) 自己存在感の感受

一人ひとりの児童生徒をかけがえない存在と捉え、個性や独自性を大切にしましょう。

(2) 共感的な人間関係の育成

自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる協力的な人間関係を学級の内外に築くようにしましょう。

(3) 自己決定の場の提供

自ら考え、選択し、決定し、行動する(発表・制作など)経験が得られる機会を意図的に設定しましょう。

(4) 安全・安心な風土の醸成

お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送ることができる風土をつくりましょう。

参考：生徒指導提要



文科省 HP に掲載の電子版にリンクします。



授業における「発達支持的生徒指導」の取組について、裏面のチェック 25 問で確認してみましょう。





やってみよう!

授業における「発達支持的生徒指導」チェック 25 問



授業は全ての児童生徒の発達を支える場となります。教科の指導と生徒指導を一体化させた授業づくりは、生徒指導の実践上の4つの視点を意識した授業に他なりません。

日頃の授業をイメージしながら、定期的に確認してみましょう。(回答時間：約5分)

いつも心掛けている	4点
ときどき心掛けている	3点
あまり心掛けていない	2点
心掛けていない	1点

1. 自己存在感の感受

授業の導入	① 児童生徒の名前を呼んだり、目を合わせて話したりしていますか。	4	3	2	1
	② 授業の導入で、興味を引き出すような工夫をしていますか。	4	3	2	1
発言・発表の場	③ 児童生徒のつぶやきを拾い、発表の機会としていますか。	4	3	2	1
	④ たどたどしい発言でも、最後まで熱心に聞いていますか。	4	3	2	1
	⑤ 的外れに思える意見でも、間違いを否定せず、クラス全体で考えるきっかけにしていますか。	4	3	2	1
称賛・励まし	⑥ 「よくできたね」「がんばっているね」といった、具体的な承認や称賛の言葉をかけていますか。(提出物等に肯定的な評価を書き加えるなど)	4	3	2	1
	⑦ 「どうやって思いついたの?」「どんな工夫をしたの?」と、考えに至る過程を尋ねていますか。	4	3	2	1
	⑧ 意欲が見られない児童生徒にも、できる部分を見つけて配慮していますか。	4	3	2	1

2. 共感的な人間関係の育成

ペア学習・グループ学習	⑨ ペアやグループでの話し合い活動を取り入れていますか。	4	3	2	1
	⑩ 児童生徒が協力して学習できるよう、役割分担を促していますか。	4	3	2	1
互いに尊重し合う雰囲気づくり	⑪ 他者の意見にうなずいたり、拍手したりするなど、反応を返すよう促していますか。	4	3	2	1
	⑫ 間違いや失敗を冷やかしたり、からかったりしない雰囲気づくりをしていますか。	4	3	2	1
対話の促進	⑬ 「〇〇さんの意見について、どう思う?」など、対話を促す発問をしていますか。	4	3	2	1

3. 自己決定の場の提供

目標設定	⑭ 授業のめあてを簡潔・明瞭に示していますか。	4	3	2	1
	⑮ 児童生徒自身が、学習課題や学習方法を選択できる場を設けていますか。	4	3	2	1
振り返り	⑯ 学習を振り返り、これからの学習につなげる時間を確保していますか。	4	3	2	1
	⑰ ワークシートやノートへの記述を通して、自己評価をさせていますか。	4	3	2	1
学習の進め方	⑱ 学習の流れを提示し、見通しを持たせていますか。	4	3	2	1
	⑲ 児童生徒が自分で考え、行動する時間を十分に確保していますか。	4	3	2	1

4. 安全・安心な風土の醸成

明確なルール	⑳ 授業の始まりと終わりの時間を守るよう促していますか。	4	3	2	1
	㉑ 児童生徒が主体的に関わって、授業のきまりやルールを作成していますか。	4	3	2	1
規範意識の育成	㉒ 人の心や体を傷つける言葉や行為を許さない雰囲気づくりをしていますか。	4	3	2	1
	㉓ 教師自身がルールを守る手本を示し、毅然とした態度で臨んでいますか。	4	3	2	1
学習環境の工夫	㉔ 掲示物などを工夫し、児童生徒の頑張りや成果を可視化していますか。	4	3	2	1
	㉕ 学習活動の内容に応じて、机の配置や学習スペースを変えていますか。	4	3	2	1



確認日 令和 年 月 日

点